

セフティ防災棟

標準施工手順



2023 年 6 月 27 日
初版

物に心を



株式会社 丸 悠

セフティ防災棟の特徴

●抜群の耐震・耐風性

躯体と棟部、各棟瓦を専用の金具で固定

●抜群の施工性

ほとんど南蛮土、じっくいを使わないので施工能率が大幅アップ

改訂履歴

初版

2023 年 6 月 27 日

INDEX

1. 施工手順概要	1
2. 陸棟施工手順	2
3. 隅棟施工手順	5
4. 構成材	8

1. 施工手順概要



1. 棟金具取付



2. 受木取付 (棟金具高さ調整後)



3. 面土取付



4. 馴染土施工後、防災のし(大)取付



5. 鬼瓦仮付後、防災のし(大)取付



6. 防災のし(小)取付



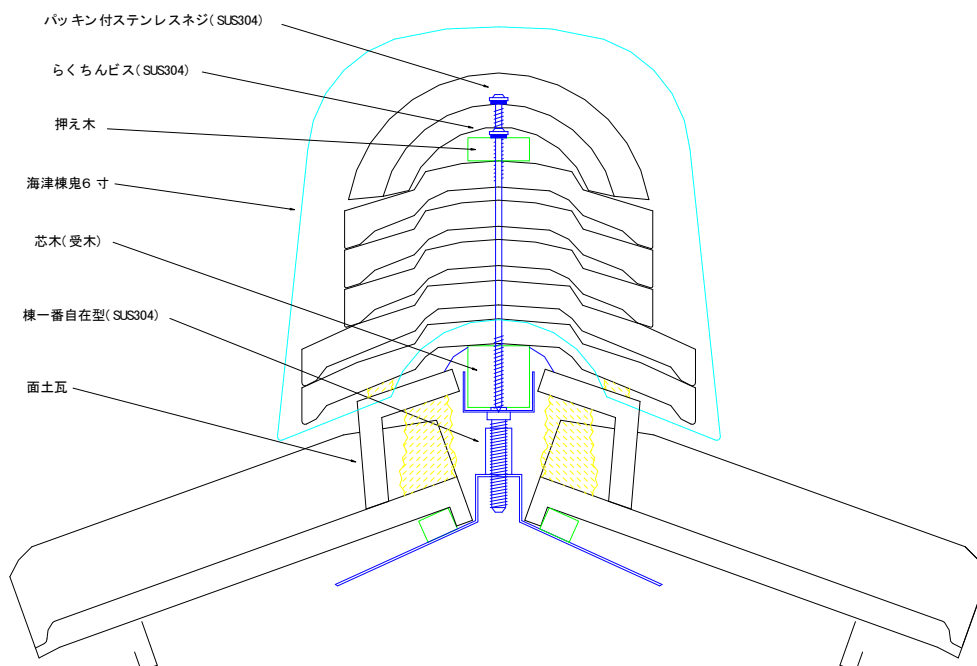
7. 押木取付



8. 冠瓦緊結



9. 完成

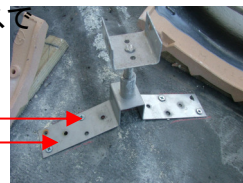


2. 陸棟施工手順

【1. 棟金物取付け】

ベースの野地取付けは両サイドを各2箇所以上をビスで確実に取付けて下さい。

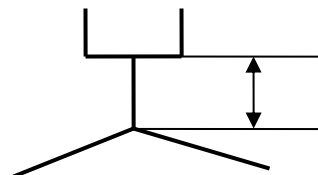
ビスで2箇所以上



栈木を取り付けます



瓦を取り付けます



屋根勾配、寄席棟、切屋根など屋根の形状にもよりますが、70mm～90mm程度

【2. 受木取付け】



＝高さ調整＝

面土と熨斗を仮置きし高さを調整します。
熨斗と面土のクリアランスを5mm～10mm程度取って下さい。



高さが決まれば、ビスで留め付けます。

*受け木を取り付けた後でも
高さ調整できる棟タイトも
ご用意しています。

＜棟タイト＞

ベースの付根にあるアジャスターで高さを調整できます。

【3. 南蛮しっくい敷き】



2. 陸棟施工手順

【4. 棟巴の取付け】



ビス留付け穴を開けビスで留める。



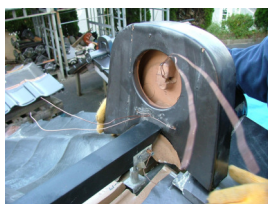
尻部の銅線緊結穴に緊結線を通し、その両先端を受け木留めビスに巻き付け留める。

【5. 面土取付け】

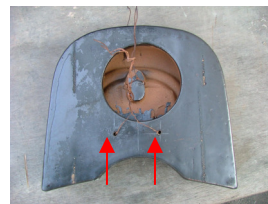


面土を取付け、受け木上部に緊結線が隠れる程度の鋸目を入れる。

【6. 鬼取付け】



棟鬼を仮置きする

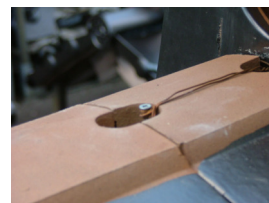
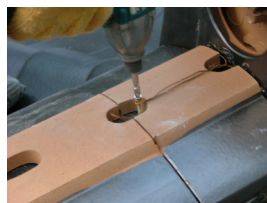


棟鬼の裏下部に穴を開け、緊結線を取る

【7. 防災のし取付け】



面土の上に南蛮しっくいを置き、1段目の熨斗を葺く



棟鬼の裏下部の緊結線をビス（55mm）に取付ける

2. 陸棟施工手順

【8. 押え木取付け】



らくちんスリムビスで押え木の上から受け木まで
熨斗瓦をサンドし留め付けて下さい。

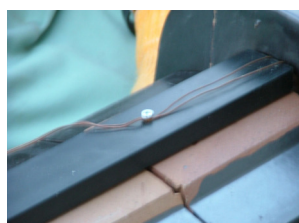
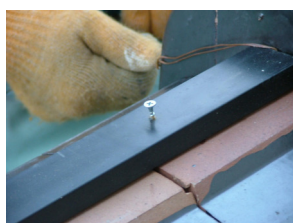
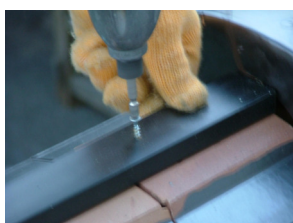
＝ビスのサイズ＝

6 段 210mm

5 段 180mm

4 段 150mm

3 段 130mm



【9. 丸冠取付け】



丸冠の2箇所ある留め付け穴（隠し穴）後部の
穴をあけ、らくちんスリムビス 55mmで受け木
に留め付けて下さい。

【10. 完 成】

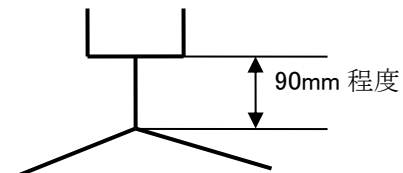
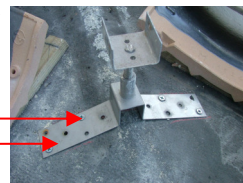


3. 隅棟施工手順

【1. 棟金物取付け】

ベースの野地取付けは両サイドを各 2 箇所以上をビスで確実に取付けて下さい。

ビスで 2 箇所以上



金具の高さは、受け木の下端が、屋根地から 90mm 程度の高さになるように調整してください。

【2. 受木取付け】



＝高さ調整＝

熨斗を仮置きし高さを調整します。
熨斗と棧のクリアランスを 10mm 程度取って下さい。

*受け木を取り付けた後でも高さ調整できる棟タイトもご用意しています。



高さが決まれば、ビスで留め付けます。

<棟タイト>

ベースの付根にあるアジャスターで高さを調整できます。

【3. 南蛮しっくい敷き】



3. 隅棟施工手順

【4. 隅巴の取付け】

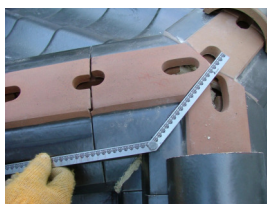


ビス留付け穴を開けビスで留めます。

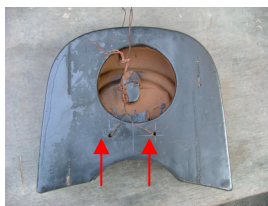


尻部の銅線緊結穴に緊結線を通し、その両先端を受け木留めビスに巻き付け留めてください。

【5. 防災のし取付け】



1 段目の熨斗を葺きます。大棟との接合面は、自在がねを用いて入念に切り合わせてください。



棟鬼の裏下部に穴を開け、緊結線を取り、ビス（55mm）に取付けます。

3. 隅棟施工手順

【6. 押え木取付け】



＝ビスのサイズ＝
4 段 150mm
3 段 130mm

らくちんスリムビスで押え木の上から受け木まで
熨斗瓦をサンドし留め付けて下さい。

【7. 丸冠取付け】



丸冠の 2 箇所ある留め付け穴（隠し穴）後部の穴を
あけ、らくちんスリムビス 55mm で受け木に留め付
けて下さい。

【8. 完成】



4 . 構成材



棟芯木(受け木)	43～45 mm×43～45 mm(注 1)、人工木、良質の杉、檜、松等を防腐処理したものか腐りにくいもの
押え木	15 mm×40 mm、人工木、良質の杉、檜、松等を防腐処理したものか腐りにくいもの
バックン付きビス	らくちんビス及び同等品 SUS304 55 mm 冠瓦留付用 130 mm 3 段熨斗積用 150 mm 4 段熨斗積用 180 mm 5 段熨斗積用
棟補強金物	SUS304 棟一番自在金物及び同等品(注 2) *取付けピッチは必ず 1mを超えないようにしてください。

(注 1) 棟芯木の寸法は使用する棟補強金物に合わせてください。

(注 2) 棟補強金物は肉厚 1.5 mm以上の物を使用してください。

物に心を



株式会社 丸 惣

本 社/〒695-0024 島根県江津市二宮町神主 1820 番地 5
TEL (0855) 53-0811 FAX (0855) 53-3623

福井営業所/〒918-8016 福井県福井市江端町 5 番地 11
TEL (0776) 34-8613 FAX (0776) 34-8614

<http://www.kawara.co.jp>